

生徒心得

高校生活においては、何事によらず、自主的な態度が要求される。それは、校訓にも示されているような、まわりに流されない強い自分をつくる努力と切りはなすことができないものである。

将来のために真剣に学ぶとともに、高校生活の現在を大切に、人とのつながりを深めよう。そのことを通して自分と世界を理解し、個性の確立につとめよう。

第1章 生活態度

自分の人格に誇りをもち、学習途上の立場を自覚し、品位を失わず、しっかりした生活態度を自律的に確立するようにつとめよう。

1. 先生・来客・友人に対し、場面になつた礼儀作法を大切にすること。
2. 意を尽くした言葉づかいをし、見苦しい話題や表現はつつしむこと。
3. 服装は清潔・端正・簡素を旨とし、良識に従うこと。

ア. 標準服A, B, Cを設定する。

イ. 生徒自治会組織（風紀委員会）による自主規制に従うこと。

◇標準服A

冬 プレザー（ズボンタイプ）



プレザー 濃紺
学校指定のネクタイ

夏 標準服Aの上着は、白のカッターシャツ
※ネクタイについては、気温等により個人の判断に任せる

◇標準服B

冬 プレザー
（スカートタイプ）



プレザー 濃紺
学校指定のネクタイ及びリボン

夏 標準服B, Cの上着は、白のカッターシャツ、ブラウス
※ネクタイ、リボンについては、気温等により個人の判断に任せる

◇標準服C

冬 プレザー
（パンツタイプ）



4. 禁止事項

ア. 暴力行為。

イ. 飲酒・喫煙。

*友人の暴力行為、飲酒、喫煙を助長することなく、これを防止するようにつとめること。

ウ. スマートフォン等の授業中及び考査中の使用。

*使用に際しては、「TPO（時、場所、場合）を踏まえ、他の人に迷惑をかけない、不快感を与えない」ようにすること。

第2章 対人関係

個性の伸長と確立のために、他の多くの人格との触れ合いをもつことは大切なことである。おのれを失わず、他の人格と協調し、互いの人格を尊重しあう態度をもちたい。真剣に意見をたたかわせ、悩みや苦しみを分かちあえる友こそ真の友人であることを知ろう。

第3章 校内生活

学校は学習の場であり、また集団生活の場であることに留意し、定められた事項をきちんと実行するのはもちろん、他に迷惑をかけず、何事にもまじめで積極的な態度で取り組んでいこう。

1. 生徒手帳を携行すること。
2. 掲示・放送等による伝達に注意すること。
3. 予鈴時刻（午前8時25分）までに登校すること。

4. 遅刻・欠席をしないようにつとめること。
*欠席のときは、保護者から連絡してもらうこと。
*遅刻をしたときは、「入室許可証」を生徒指導室へ取りに行くこと。
5. 自習時間は、教室で、静かに自習すること。
6. アイスcreamや缶の飲料、蓋の無い飲料、食堂の規定以外の食べ物を校舎内に持ち込まないこと。
7. 〔清掃〕
ア. 校舎内外の清掃美化につとめること。
イ. 清掃分担区域を放課後直ちに行い、監督の先生の点検を受けること。
ウ. 紙屑その他を落さぬようにし、気のついた者は拾うようにすること。
8. 学校の建物・器具は大切に取り扱い、使用したときは後始末を忘れぬようにし、これらを損傷したときは直ちに先生に届け出ること。
9. 〔遺失物・盗難予防〕
ア. 自分の所持品には名前を書き、教室等に放置しないこと。
イ. 多額の金銭や貴重品を持参しないこと。
やむを得ず持参する場合は、身から離さず管理し、盗難予防に留意すること。
ウ. 所持品の紛失又は拾得は、直ちに担任又は生徒指導部の係に届け出ること。
10. 要許可事項
ア. 欠課・早退…担任へ

- イ. 始業から放課後になるまでの外出…担任へ
ウ. 下校時刻以後の居残り…顧問又は担任へ
エ. 休日及び放課後の学校施設の使用…顧問又は担任へ
オ. 自転車通学…生徒指導部へ
*ただし単車やフル電動自転車での通学は禁止する。

第4章 校外生活

校外にあつては、つねに公明正大に行動し、家人に無用の心配をかけないようにしよう。一人一人の言動が今高生全体を代表していることに留意しよう。交通規則、社会道德等を厳守し、社会の一員としての自覚を失わぬようにふるまおう。

1. 外出は行先、帰宅時間を家人に告げるようにし、外泊は必ず家庭の承諾を得ること。
2. 要許可事項

アルバイト…原則は禁止であるが、家庭事情によりやむを得ないときは、担任と相談し、「アルバイト許可願」と「誓約書」を提出すること。